

# 2026年1月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

2025年6月13日

上場会社名 クロスプラス株式会社 上場取引所 東名

コード番号 3320 URL <a href="https://www.crossplus.co.jp">https://www.crossplus.co.jp</a>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 大寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 鮎川 崇 TEL 052-532-2211

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第1四半期の連結業績(2025年2月1日~2025年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上		営業利	J益	経常和	J益	親会社株主に 四半期紅	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第1四半期	15,981	1.6	804	8.9	840	10.7	684	35.1
2025年1月期第1四半期	15,734	6.2	738	3.0	759	2.8	506	42.6

(注)包括利益 2026年1月期第1四半期 4百万円 ( 99.5%) 2025年1月期第1四半期 791百万円 ( 40.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円 銭
2026年1月期第1四半期	92.52	91.79
2025年1月期第1四半期	68.74	68.15

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第1四半期	29,935	16,835	56.1
2025年1月期	27,658	16,942	61.1

(参考)自己資本 2026年1月期第1四半期 16,798百万円 2025年1月期 16,905百万円

### 2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭		
2025年1月期		15.00		15.00	30.00		
2026年1月期							
2026年1月期(予想)		23.00		23.00	46.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年 1月期の連結業績予想(2025年 2月 1日~2026年 1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株主に 当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	30,500	3.0	800	10.4	900	9.7	700	7.2	94.62
通期	64,000	3.2	1,200	16.5	1,400	9.8	1,200	6.9	162.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2026年1月期1Q	7,718,800 株	2025年1月期	7,718,800 株
2026年1月期1Q	320,501 株	2025年1月期	320,501 株
2026年1月期1Q	7,398,299 株	2025年1月期1Q	7,371,559 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当四半期の経営成績の概況	2
(2)当四半期の財政状態の概況	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

#### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年2月1日~2025年4月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復傾向が見られました。

当アパレル業界では、天候不順による春・初夏商品の売れ行き不振に加え、地政学リスクの長期化、原材料や燃料価格の高騰、為替相場の変動、そしてアメリカの政策動向による世界経済への影響など、先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、今年度より策定した中期経営計画に基づき、アパレルとライフスタイルの両輪で収益力向上に取り組んでまいりました。アパレル卸売では、収益性を高めるために専門店販路の拡大、機能性ファッションブランド「クロスファンクション」の強化、メンズ事業の拡大を進めました。小売では、自社ブランドを展開する量販ショップにおいて好調な雑貨の品ぞろえを増やし、ECにおいてはSNSや動画を活用したマーケティングを強化することで、外部モールに加えて自社ECサイトでも売上の拡大を図りました。ライフスタイル卸売では、シーズン雑貨に加え、ビューティー、ヘルスケア、ファッション雑貨などのライフスタイル領域を拡充し、アパレルだからこそできるライフスタイルを創造してまいりました。

売上高は、アパレル卸売が、量販店向けの販売増加やメンズ専門店向けの売上改善が見られたものの、前年を若干下回る結果となりました。一方、ライフスタイル卸売では、ネイルやヘアケアの新ブランドが好調に推移したことなどにより、前年を上回る結果となりました。小売では、寒暖差の影響で、春アウターや初夏商品の販売が苦戦したものの、昨年スタートした雑貨ショップの好調が続いていることに加え、for/cのボトムを中心にECが大きく伸長したことで、全体では増収となりました。

利益面では、卸売で売上総利益率が低下したものの、売上の増加により、売上総利益は44億78百万円(前年同期比1.1%増)となりました。経費面では、賃上げによる人件費やトラック運賃などの物流費が増加したものの、広告宣伝費やロイヤリティの減少により、販売費及び一般管理費は36億74百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は159億81百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は8億4百万円(前年同期比8.9%増)、経常利益は8億40百万円(前年同期比10.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上により、6億84百万円(前年同期比35.1%増)となりました。

なお、当社グループは、衣料品事業の割合が高く開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

事業部門別の売	上高は.	次のと	おり	です。
T 75 HUL 1/1/1/2/16	エロバタン		- 40 /	~ 7 n

区		分	金額(百万円)	前年同期比(%)
アパ	レル	卸売	12, 216	△0.0
ライフ	スタイノ	レ卸売	890	+15.2
卸		売	13, 106	+0.9
小		売	2, 755	+4.7
そ	の	他	118	+5.6
合		計	15, 981	+1.6

販売チャネル別の売上高は、次のとおりです。

区		分	金額 (百万円)	前年同期比(%)
専	門	店	8, 295	+0.0
量	販	店	4, 942	+3.2
無	店	舗	1, 380	+1.4
百	貨 店	他	470	△15.9
Е		С	709	+27.7
そ	の	他	183	+6.4
合		計	15, 981	+1.6

#### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、299億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億76百万円の増加となりました。

流動資産は203億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億30百万円の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が10億74百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が28億22百万円増加し、商品が13億52百万円増加したこと等によります。

固定資産は95億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円の減少となりました。固定資産の減少の主な要因は、投資有価証券が48百万円減少したこと等によります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は130億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億83百万円の増加となりました。

流動負債は106億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億32百万円の増加となりました。流動負債の増加の主な要因は、電子記録債務が6億53百万円減少したものの、買掛金が19億43百万円増加し、短期借入金が4億10百万円増加したこと等によります。

固定負債は24億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億48百万円の減少となりました。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が2億33百万円減少したこと等によります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、168億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6百万円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、利益剰余金が5億73百万円増加したものの、繰延ヘッジ損益が6億63百万円減少したこと等によります。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年3月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:日万円)
	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4, 337	3, 263
受取手形及び売掛金	7, 644	10, 466
電子記録債権	1, 982	1,758
商品	2, 958	4, 311
貯蔵品	34	28
その他	1, 082	551
貸倒引当金	△28	△38
流動資産合計	18, 012	20, 342
固定資産		
有形固定資産	3, 633	3, 641
無形固定資産		
のれん	236	220
その他	136	123
無形固定資産合計	373	344
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 095	5, 047
その他	543	560
投資その他の資産合計	5, 639	5, 607
固定資産合計	9, 645	9, 592
資産合計	27, 658	29, 935
負債の部	<u> </u>	,
流動負債		
買掛金	2, 574	4, 517
電子記録債務	2, 244	1, 591
短期借入金	190	600
1年内償還予定の社債	11	11
1年内返済予定の長期借入金	1, 366	1, 332
未払法人税等	33	214
賞与引当金	133	254
その他	1, 336	2,099
流動負債合計	7, 889	10, 621
固定負債		
社債	35	35
長期借入金	1, 316	1,083
退職給付に係る負債	715	723
その他	758	635
固定負債合計	2, 826	2, 477
負債合計	10, 715	13, 099

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 944	1, 944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	10, 956	11, 529
自己株式	△425	△425
株主資本合計	14, 482	15, 056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2, 081	2, 083
繰延ヘッジ損益	149	△513
為替換算調整勘定	106	93
退職給付に係る調整累計額	85	79
その他の包括利益累計額合計	2, 422	1,742
新株予約権	37	37
純資産合計	16, 942	16, 835
負債純資産合計	27, 658	29, 935

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

		(単位・日ガロ)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
売上高	15, 734	15, 981
売上原価	11, 306	11, 502
売上総利益	4, 428	4, 478
販売費及び一般管理費	3, 690	3, 674
営業利益	738	804
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	1	0
受取家賃	32	37
為替差益	-	8
その他	7	2
営業外収益合計	41	50
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	6	-
賃貸収入原価	9	9
その他	0	0
営業外費用合計		13
経常利益	759	840
特別利益		
投資有価証券売却益	<u> </u>	200
特別利益合計		200
特別損失		
投資有価証券評価損		35
特別損失合計	<u> </u>	35
税金等調整前四半期純利益	759	1,006
法人税、住民税及び事業税	98	187
法人税等調整額	154	134
法人税等合計	252	321
四半期純利益	506	684
親会社株主に帰属する四半期純利益	506	684

## (四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
四半期純利益	506	684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	2
繰延へッジ損益	247	△663
為替換算調整勘定	11	△13
退職給付に係る調整額	$\triangle 4$	$\triangle 5$
その他の包括利益合計	284	△680
四半期包括利益	791	4
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	791	4
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

#### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

#### (会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

#### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	53百万円	51百万円
のれんの償却額	16	16

## (セグメント情報等の注記)

#### 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

当社グループは、衣料品事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。